

A220-300、中部国際空港に初飛来



セントレアに初飛来した A220-300

A220-300 が 8 月 6 日、中部国際空港セントレアに初飛来しました。アジアの各都市に飛行するデモ飛行ツアーの一環で飛来し、関係者に披露されました。飛来した A220-300 はテスト機で、モノクラス仕様の客室に 143 席を装備しています。

セントレアで航空会社やリース会社、報道関係者などを乗せて 1 時間のデモ飛行を実施し、最先端の運航性能や快適な乗り心地、日本での運航における利点などを紹介しました。

デモツアーで A220 はまずソウルに寄航してからヤンゴン、ハノイ、バンコク、クアラルンプールに

飛行し、最後に名古屋のセントレアに飛来しました (4P にデモツアーの写真特集)。

A220 ファミリーは A220-100 とサイズの大きい A220-300 で構成され、100 席から 150 席市場に対応する旅客機です。

A220 の航続距離と輸送能力は、日本から新たな地域路線の開業や、利益性はあるが比較的旅客数の多くない路線での運航に最適な機体です。また、国際線から国内線および地域路線への乗り継ぎにおいてコスト効率の優れた運航が可能です。

現在、アジア太平洋地域では大韓航空が韓国内

および国際線で A220-300 を運航しています。また、バヌアツ航空が 4 機の A220 (A220-100 を 2 機と A220-300 を 2 機) を 2019 年 2 月に発注しました。

エアバスはアジア太平洋地域における単通路型機市場において 60% 以上の市場シェアを確保しています。現在 3,000 機以上が 80 社によって運航されており、受注残は 1,500 機を超えています。

contents

A220-300、中部国際空港に初飛来

米国で A220 の生産開始

エールフランス-KLM グループ、A220 を 60 機発注へ

六本木ヒルズキッズワークショップで A380 の紙飛行機イベント開催

エアアジアが A330neo 初号機を受領

エアカランに A330neo を引き渡し

A220 アジアデモ飛行ツアーのハイライト

A220 Asia Demo Tour

Purpose built for efficiency

The most modern aircraft
in the 100 to 150-seat market

A CLEAN SHEET DESIGN

Best comfort in its class

Largest and quietest cabin

Largest overhead bins and widest economy seats

Ideal to complement the **A320 Family**

Up to **3,400 nm** / **6,300 km** range

-20% lower fuel burn per seat vs current competitors

-20% CO₂ emission

From **29th July to 6th August 2019**

Visiting **6** cities

Follow us: [Twitter](#) [Instagram](#) [Facebook](#) [LinkedIn](#) [YouTube](#) [#A220Tour](#)

AIRBUS

米国で A220 の生産開始



米国アラバマ州モービルの A220 工場

米国アラバマ州モービルで A220 の製造が開始されました。米国の工場で製造に従事する作業員は、カナダのケベック州ミラベルの A220 プログラム最終組立工場での訓練を受けてきました。

エアバスは 2017 年 10 月にモービルの A220 製造拠点の建設計画を発表しています。今年始めにはモービル・ブルックリー・エアロプレックスで主要ハンガーや関連施設の建設が着工しました。米国の A220 工場ですべて最初に製造される A220 は A220-300 で、デルタ航空に引き渡されます。納入は 2020 年第 3 四半期の予定です。次の 10 年半ばまでに年間 40 機から 50 機の A220 を製造します。

A220 は 100 席から 150 席市場に対応する航空機です。単通路型機において比類ない燃費効率性とワイドボディ機のような快適性を備えます。最先端の空力性能を備え、最新材料を使用し、プラット・アンド・ホイットニー社製新型ギヤドターボファンエンジンを搭載する A220 は、前世代機と比較して座席当たりの燃費を

20%削減します。

エアバスは米国と長年にわたり強力な関係を築いています。エアバスの航空機は米国の大手航空会社によって運航され、また、エアバスは米国の航空宇宙企業の主要パートナーでもあります。米国の 40 州以上にわたり何百社ものサプライヤーを持つエアバスは、過去 3 年間で 480 億ドルを投じています。これはエアバスが米国で 27 万 5,000 人の雇用をサポートしていることとなります。エアバスの施設は米国に数多く設置されています。カンザス州とアラバマ州にエンジニアリングセンターを置き、フロリダ州とコロラド州に訓練施設があります。さらにバージニア州には材料サポートセンターと本社を置き、また、カリフォルニア州にエアバスの革新的シンクタンク (A3) があり、ジョージア州アトランタにドローンデータ分析会社 (Airbus Aerial) があります。テキサス州とミシシッピ州にはヘリコプターの製造、組立工場が置かれ、フロリダ州に人工衛星の製造施設 (OneWeb) があります。



米国の工場ですべて製造された A220 初号機はデルタ航空に納入予定

エールフランス -KLM グループ、A220 を 60 機発注へ

エールフランス -KLM グループが、A220-300 を 60 機発注する覚書 (MoU) を締結しました。高い効率性と最先端の技術を取り入れた同機を導入することによって大幅に燃費および CO₂ 排出を削減します。発注された A220 はエールフランス航空によって運航される予定です。

エールフランス航空は現在、合計で 144 機のエアバス機を運航しています。

A220 は 2019 年 7 月末時点で 511 機の受注を獲得し、今後 20 年で 7,000 機の需要が見込まれる 100 席から 150 席市場において高い市場シェアを保持します。



60 機の A220 を導入予定のエールフランス航空

六本木ヒルズキッズワークショップで A380の紙飛行機イベント開催



A380 紙飛行機作りを楽しんだ子ども達

エアバスは六本木ヒルズの「キッズワークショップ」に今年も参加し、A380の紙飛行機を作りながら飛行機について学ぶ、子ども向けのワークショップを開催しました。合計で40人以上の小学生が参加し、エアバスの旅客機とヘリコプターについてビデオやクイズで学び、A380の紙飛行機作りに挑戦しました。

エアバスは2012年から毎年、六本木ヒルズが開催する恒例の夏休みイベント、「キッズワークショップ」に参加しています。8年間で合計320人を超える小学生達が紙飛行機作りを通してエアバスの航空機の製造工程や飛ぶ仕組み、特徴などを楽しみながら学びました。

エアバス・ジャパンの野坂孝博コミュニケーション・ディレクターは次のように述べています。「この紙飛行機ワークショップは、次世代を担う子ども達の航空宇宙の世界に対する興味や関心を促進することを目的として開催しています。私達は航空宇宙メーカーとして、より明るい、持続可能な未来を実現するために様々な取り組みを行っています。このような活動が、子ども達や若者達が自身の将来を考える上で航空宇宙の世界に魅力を感じてもらえるきっかけとなることを願っています」

エアアジアがA330neo初号機を受領



エアアジアのA330neo初号機を引き渡し

エアアジアがこのほど、同社のA330neo第1号機を受領しました。このA330neoは長距離路線サービスを展開するタイ・エアアジアXが運航します。

高い経済性を備えるA330neoはエアアジアの長距離路線運航において大幅な燃費効率向上をもたらします。最新のA330neoはバンコクのドンムアン空港を拠点とし、同社の成長およびオーストラリアや日本、韓国といった主要市場への路線拡充をサポートします。

タイ・エアアジアXのA330-900は2クラス制でプレミアムフラットベッド12席とエコノミークラス席365席の合計377席を装備します。

エアアジアXは現在36機のA330-300を運航し、合計66機のA330neoを発注しています。

エアカランに A330neoを引き渡し

ニューカレドニアのエアカランが同社のA330neo初号機を受領しました。エアカランは合計2機のA330neoを発注しており、既存の2機のA330と入れ替えます。同社はまた、2機のA320の後継機としてA320neoも発注しています。

エアカランのA330neoは3クラス制で、ビジネスクラス26席、プレミアムエコノミー21席、エコノミークラス244席の合計291席を装備し、既存のA330-200よりも25席多く席を提供します。

エアカランはA330neoによって日本やオーストラリア、太平洋諸島への路線で旅客輸送量を増加し、ノンストップ飛行サービスを展開します。



エアカランのA330neo初号機

A220 アジアデモ飛行ツアーのハイライト



中部国際空港には初飛来



コックピットを公開



1 番目の目的地のヤンゴン



ハノイに到着



バンコクに飛来



クアラルンプールで披露

2019年7月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	15,284機	9,031機	8,612機
A300 / A310	816機	816機	306機
A330 / A340	2,116機	1,840機	1,675機
A350	913機	295機	295機
A380	290機	239機	237機
合計	19,419機	12,221機	11,125機